

オープンアップ系、派遣エンジニア向けに半導体研修施設

2023/11/30 17:00 日本経済新聞電子版 760文字

技術者派遣大手のオープンアップグループ子会社のビーネックステクノロジーズ（東京・港）は半導体エンジニアを育成する研修施設を12月1日に東京都内に新設する。半導体分野は国内での設備投資が活発になり、人手不足が深刻となっている。年間100人以上を目標にエンジニアを育成する。

研修施設は江東区の複合ビル「テレコムセンタービル」に開設する。正社員として採用して顧客企業に派遣する「常用型派遣」のエンジニアが、未経験でも研修を通じて半導体製造装置のメンテナンスや修理を行えるようにする。



新設する半導体エンジニア育成のための研修施設では実際の半導体製造装置を導入する

約5千万円を投じて、実際の製造ラインで使われる半導体加工のためのドライエッチング装置や模擬クリーンルームをそろえ、工場や開発の現場を再現した。本物の材料も使って製造工程を体験しながら学ぶことができる。装置は派遣先の顧客の意見も聞き、汎用性の高いものを選定した。

研修ではエンジニア4人に対して1人のベテラン技術者が講師につく。1カ月間で半導体の歴史や理論からケーブルや電圧のチェック、機器メンテナンスまで学ぶ。日本半導体製造装置協会（SEAJ）が推奨する安全教育のプログラムも研修に含んでいる。

ビーネックステクノロジーズでは半導体製造装置メーカーが主な顧客で、半導体領域のエンジニアは約1500人が在籍している。そのうち保守などのメンテナンスエンジニアが過半数を占めている。半導体産業の国内回帰が進むなか、派遣人材のニーズは高まっている。

これまではエンジニアが派遣先で実務をこなしながら技術や知識を学ぶことが多かったが、育成に注力して高度化が進む生産現場の需要に応える。同社の吉井栄伸社長は「半導体は需要の浮き沈みの激しい分野だが拡大傾向にあり、日本の重要産業だ。未経験者を育成できるよう投資していく。今後、研修施設の増設も視野に入れる」と話す。

許諾番号30096560 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.